

JAグループ宮城 災害復興ニュース (総合版)

第 4 0 号

【平成 24 年 5 月 7 日 (月) 発行】
発行：JAグループ宮城災害復興本部
編集：JA宮城中央会
〒980-0011 仙台市青葉区
上杉 1 丁目 2 番 16 号 JA ビル宮城 6F
電話番号：022-264-8697 又は 264-8207
FAX 番号：022-216-4466
E-mail：jataisaku@gmail.com

《目次》

I. 復興本部からの情報提供

1. 本県選出国會議員にTPP交渉参加断固阻止、震災からの農業復興・原発事故対策を要請
2. TPP交渉参加断固阻止へ街頭宣伝
3. 山田俊男、小野寺五典両議員に原発事故の損害賠償金早期支払いなどを要請
4. 原発事故損害賠償対策宮城県協議会が東京電力に第8次請求
5. 石巻連合倉庫の復旧工事に着手

I. 復興本部からの情報提供

1. 本県選出国會議員にTPP交渉参加断固阻止、震災からの農業復興・原発事故対策を要請

JA宮城中央会と県農協政治連盟は4月25日、東京都内のホテルに県選出国會議員を招き、「TPP交渉参加断固阻止・震災復興に向けた宮城県JA要請集会」を開きました。

石山敬貴、今野東、橋本清仁（以上、民主党）、小野寺五典、秋葉賢也（以上、自民党）、井上義久（公明党）、斎藤やすのり（新党きづな）の7議員が出席。JA組合長、県農協青年連盟・JAみやぎ女性協議会代表ら約80人が、TPP交渉参加を阻止し、震災からの農業復興対策と、原発事故に伴う放射線基準値対策などに、最大限の尽力を要請しました。

出席議員は「皆さんの思いをしっかりと受け止めて頑張ります」と引き続きの支援を表明しました。

上京団はこの後、都内で開かれた「TPPから日本の食と暮らし・いのちを守り『交渉参加表明』を阻止する国民集会」に参加。「TPP交渉参加に私たちは断固反対します!!」の横断幕を携えて、都内をデモ行進しました。



2. TPP交渉参加断固阻止へ緊急街頭宣伝

JAグループ宮城と県協同組合こんわ会は4月19・20日、TPP交渉参加断固反対を訴える緊急街頭宣伝を、仙台市内中心部の4カ所で行いました。県農協青年連盟の委員やJAみやぎ女性組織協議会のメンバー、県連合会・JA仙台の職員などの他、県協同組合こんわ会から、みやぎ生協、県森林組合連合会の職員なども参加。2日間で約100人が、TPPの問題点を解説したちらしやティッシュペーパーを配り、市民に交渉参加反対への理解を求めました。

県内の各JAでも、独自の街宣活動や集会を行いました。

3. 山田俊男、小野寺五典両議員に原発事故の損害賠償金早期支払いなどを要請

JA宮城中央会とJA栗っこ、JAみやぎ登米は4月8日、栗原市内で山田俊男参議院議員と小野寺五典衆議院議員に、「東京電力による損害賠償金の早期支払いと農業復興を求める要請」を行いました。4月から放射性物質の暫定基準値が厳しくなったことを受け、牧草地など農地の除染対策や代替飼料の確保、汚染稲わら・堆肥の処分などについて、国が万全な対策をとるよう要請しました。

要請に先立ち、山田議員は登米市と栗原市管内の畜産農家や原木シイタケ生産農家を視察。石巻市と南三陸町では震災からの復興状況を視察しました。

4. 原発事故損害賠償対策宮城県協議会が東京電力に第8次請求

JAグループ東京電力原発事故農畜産物損害賠償対策宮城県協議会は4月20日、第9回総会を開き、東京電力に対する第8次請求額を9億3600万円と決定し、4月27日に東京電力に請求しました。

3月末に請求した第7次までの請求総額は76億5300万円。これに対し、東電から支払われた総額は41億2800万円で、請求対比54%となっています。協議会では今後、新たに除染費用やセシウム吸収抑制対策などに関する損害も請求していくことにしました。

5. 石巻連合倉庫の復旧工事に着手

JA全農みやぎは、東日本大震災の津波で被災した石巻連合倉庫第1倉庫と第2倉庫の復旧工事に着手しました。工事に先駆けて、3月27日に安全祈願祭を行いました。

石巻連合倉庫は県内の米穀を保管する重要な拠点倉庫で、県内JAから早期復旧の要請があがっていました。除塩対策などで、石巻地区など沿岸部周辺JAで水田の復旧が本格化。生産量の回復も見込まれることなどから早期の稼動が期待されています。完成は10月の予定です。

以上